

# News Release

## 企画展「名著誕生展 ヴァチカン教皇庁図書館Ⅲ+」開催

印刷博物館では、4月25日（土）より「名著誕生展 ヴァチカン教皇庁図書館Ⅲ+」を開催します。古来、様々な分野で名著は生まれ、継承されてきました。特に哲学・宗教分野での知は、賢人が発した言葉として捉えられ、弟子らが書きとめた師の発話は、やがて手書き写本として伝わっていきます。そうした知の伝達行為は、中世後期に西洋で誕生した印刷技術によって激変します。時空を超え、各時代に強烈なインパクトをのこした名著は、印刷産業による大量生産を前提に生み出されたものでした。本展は、2002年、2015年と、過去2回にわたりヴァチカン教皇庁図書館とともに開催してきた企画展の第3回目となります。名著を通じ、印刷産業が文化・社会の発展を力強く支え、人間とは何かという問いかけを発信し続けてきたことを、世界初公開となるヴァチカン教皇庁図書館所蔵の中世写本、初期刊本8点を中心とした66点の展示品とともに紹介します。



### ■開催概要

会期：2026年4月25日（土）～2026年7月20日（月・祝）

会場：印刷博物館

東京都文京区水道1丁目3番3号 TOPPAN 小石川本社ビル

開館時間：10:00～18:00（入場は17時30分まで）

休館日：毎週月曜日（5月4日、7月20日は開館）、5月7日（木）

入場料：一般1000円、学生500円、高校生300円

※中学生以下、70歳以上の方は無料

※障がい者手帳（アプリ含む）をお持ちの方、およびその付き添いの方1名は無料

※20名以上の団体は各50円引き

※2026年5月5日（火・祝）こどもの日は無料

ウェブページ：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/t20260425.php>

主催：TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館、ヴァチカン教皇庁図書館

協力：明星大学、クロス・フィロソフィーズ株式会社

後援：一般財団法人 日本聖書協会、宗教法人 カトリック中央協議会、  
宗教法人 カトリック東京大司教区

## ■ 展示内容

### ・第1部 はじまりの名著 対話からテキストへ

紀元前 5~6 世紀、賢人が発する言葉から知が生まれました。それは対話によって人間とは何かを問う行為でした。師の発話は弟子によって口承、書写され、やがて写本や書簡の中でテキストとして定着していきます。15 世紀に誕生した複製術（活版印刷や版画）によって、同じ内容のテキストやイメージがより広く記録・伝播され、名著が生み出される土壌が整うことになりました。



ルクレティウス 『物の本質について』 1483 年 ヴァチカン教皇庁図書館蔵  
Vat. lat. 1569, f. 1r ©2026 Biblioteca Apostolica Vaticana



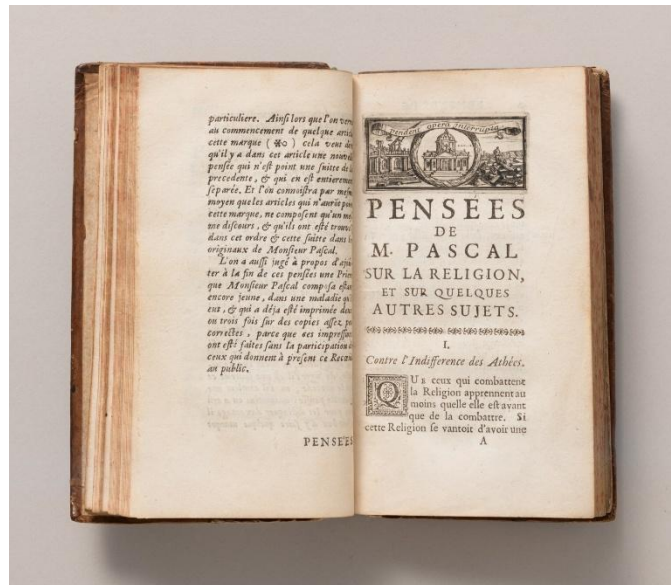
アウグスティヌス 『神の国』 1467 年 ヴァチカン教皇庁図書館蔵  
Stamp. Ross. 493, f. 13r ©2026 Biblioteca Apostolica Vaticana

## ・第2部 近代の名著とは 技術・科学・哲学の融合

ゲーテンベルクから200年後、厳しく校正されたテキストや数式、詳細な図版表現が反証可能な学問を生み出します。道具の進化により科学者自ら観測・観察・検証を繰り返し、実証性の高い名著が誕生するのもこの頃です。そしてついに集大成ともいえる空前絶後の出版プロジェクト『百科全書』が登場します。



ガリレオ・ガリレイ 望遠鏡（複製） 2000年、1610年（原資料）  
印刷博物館蔵

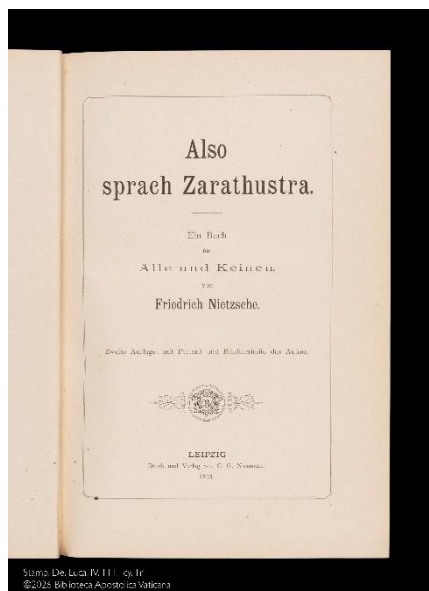


ブレイズ・パスカル 『瞑想録（パンセ）』 1670年  
印刷博物館蔵

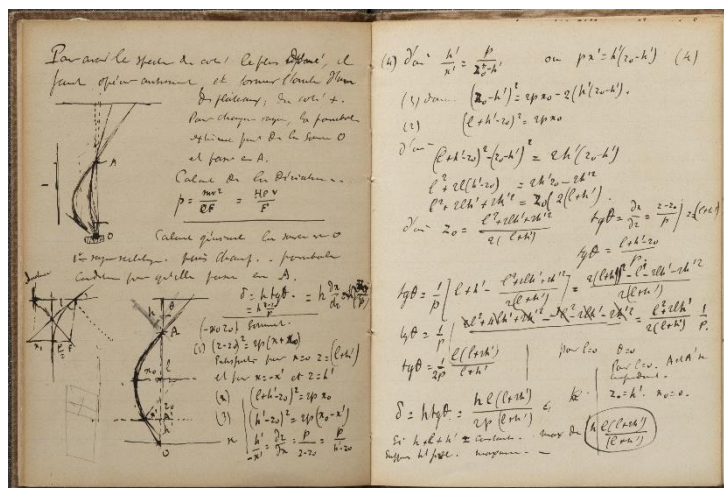
## ・第3部 これも名著？ ここにも名著！

19世紀以降、新たなテーマと人類は向き合います。記号への関心、多様な性、遺伝子や放射能、ホログラム、サイバー空間など、現代社会特有の問題を扱う名著が生まれます。

また日本人は新しい言葉「哲学」とともに西洋の近代知を受け入れていきます。ニューメディアである学術誌や文芸誌、そしてマンガや映画を通していかに西洋の近代知が受け入れられてきたのか。その黎明期を追います。



フリードリヒ・ニーチェ 『ツアラトウストラはかく語りき』 1893年 ヴァチカン教皇庁図書館蔵  
Stamp. De. Luca. IV. 111, cy. 1r ©2026 Biblioteca Apostolica Vaticana



アンリ・バクレル 直筆の実験ノート 1900年  
明星大学蔵

## ■ 展示関連プログラム

本展会期中の土曜、日曜、土日に続く祝日には、館内の施設「デジタル文化財ミュージアム KOISHIKAWA CROSS®」内の VR THEATER にて、『システィーナ礼拝堂』の特別上映を行います。ヴァチカンの至宝ともいわれる天井画、壁画を、作者であるミケランジェロの視点で鑑賞することが可能です。全長 20m、高さ 5m の大型 LED カーブビジョンに描画された 16K 超高精細 VR 映像が、圧倒的な臨場感で文化財への没入体験を提供します。

「デジタル文化財ミュージアム KOISHIKAWA CROSS®」施設 WEB サイト:  
<https://koishikawaxross.jp/>

\*印刷博物館は TOPPAN ホールディングス株式会社が創立 100 周年を記念し、2000 年に設立した公共文化施設です。

\*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上